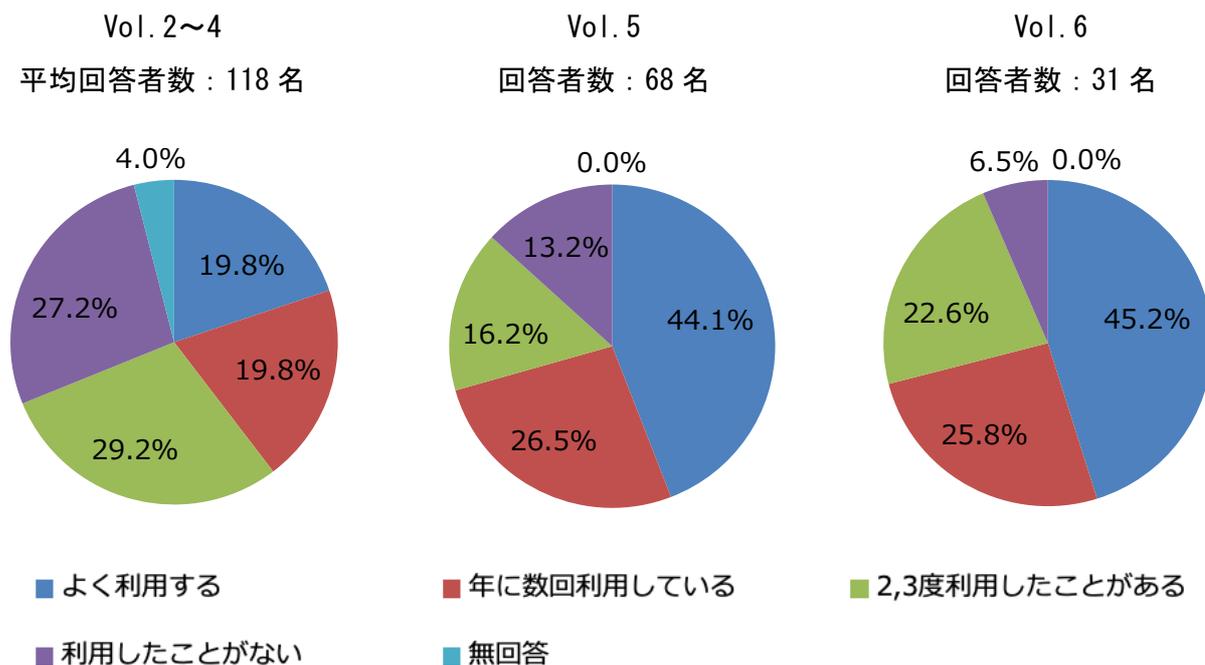


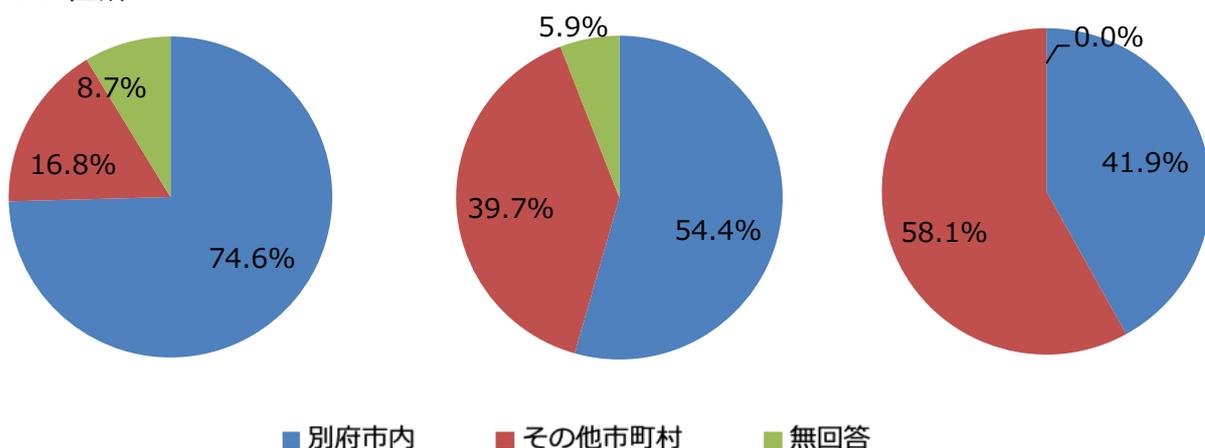
## 1 オープンプラットフォーム会議 アンケート比較

オープンプラットフォーム会議 vol.2~4（ビフォーコロナ）と、今年度開催した vol.5、vol.6 のアンケート結果を比較検証する。

### Q1. 現在、図書館を利用していますか？

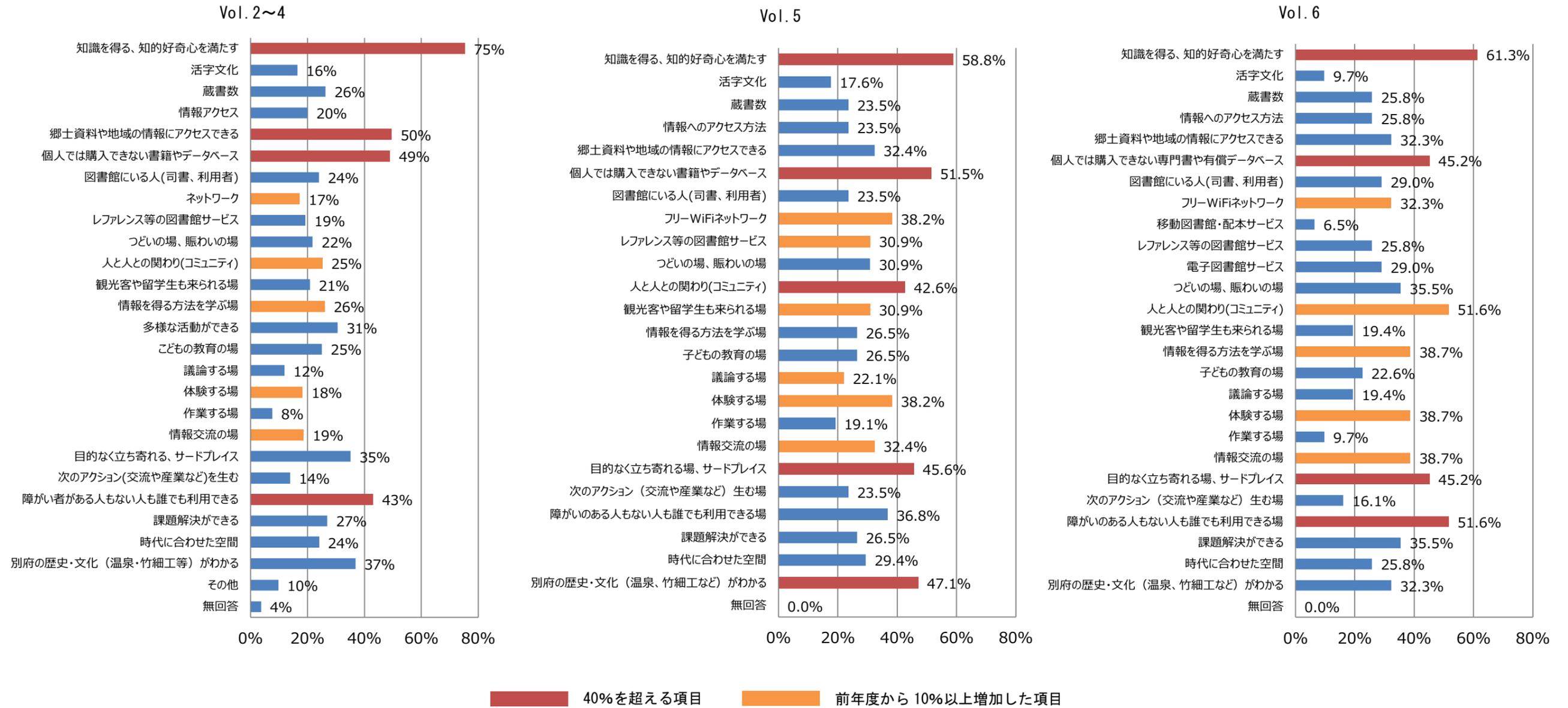


### Q10-3. 住所



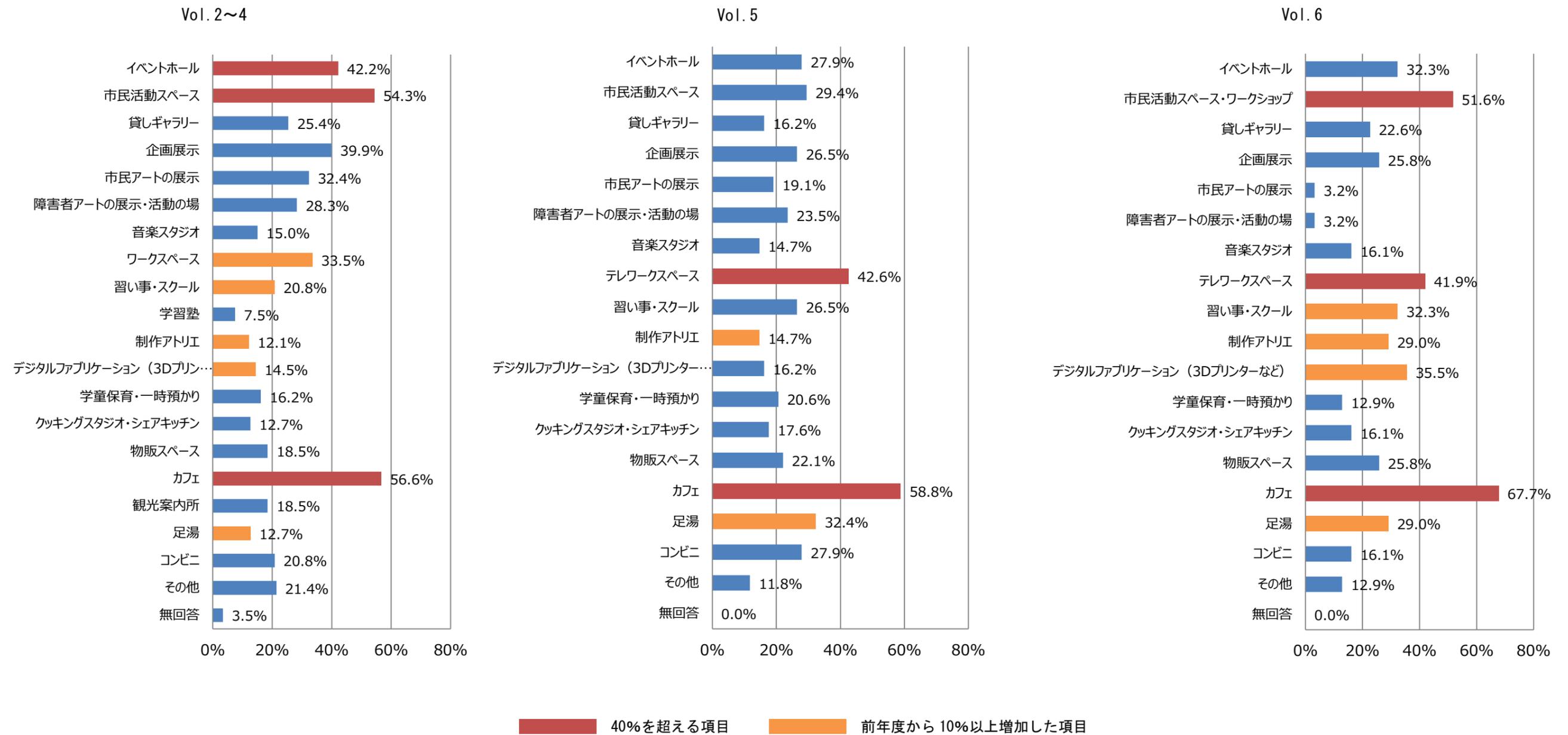
- ・昨年度（vol.2~4）までは、別府市内の参加者が75%であったが、今年度（vol.5~6）はコロナ禍の影響でオンライン開催となったこと、またリアル会場においても入場人員を制限したことから、市民は4~5割程度にとどまった。一方、市外参加者が約4~6割程度に増えた。
- ・Vol.4(令和元年1月20日開催)までは、「よく利用する」が2割前後であったが、今年度は45%

Q2. あなたにとっての図書館の重要な役割や機能は何ですか？



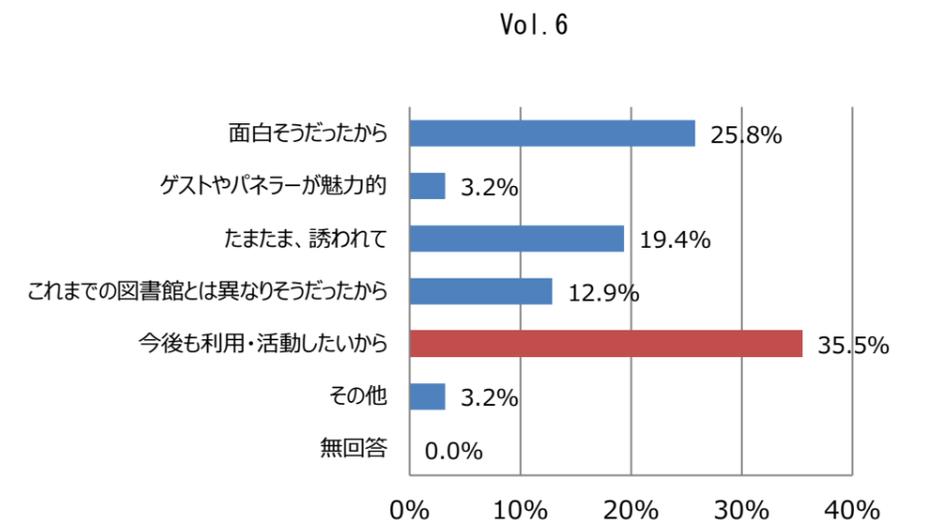
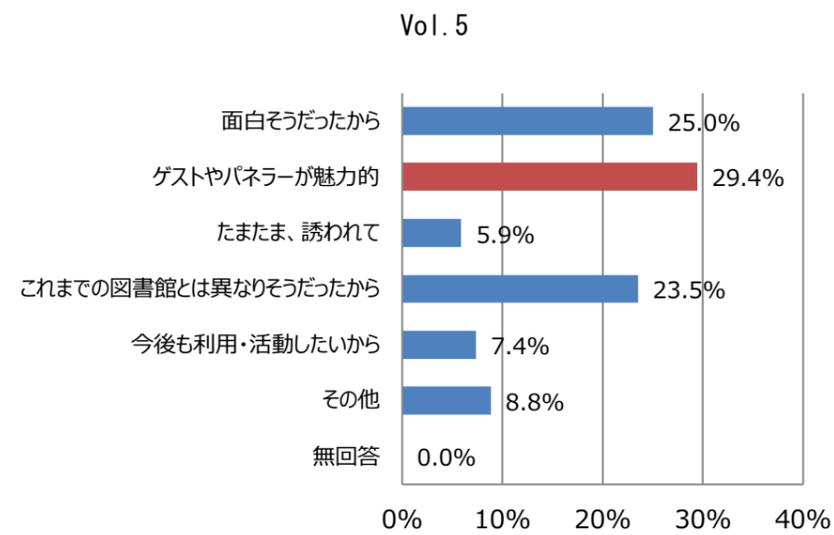
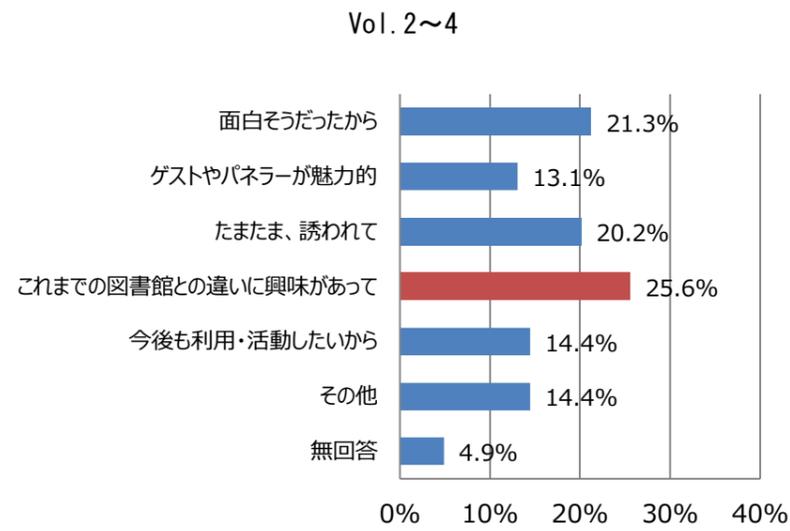
- 全ての回に共通して「知識を得る、好奇心を満たす」「個人では買えない書籍やデータベース」が重要と答える人が過半数以上を占めている。
- 今年度に増加した項目として「フリーWiFi ネットワーク (17→38%)」「人と人との関わり (コミュニティ) (25→51%)」「体験する場 (18→38%)」が倍増し、「情報を得る方法を学ぶ場 (26→38%)」「情報交流の場 (19→38%)」「目的なく立ち寄れる、サードプレイス (35→45%)」が10%増加した。
- 一方、「郷土資料や地域の情報にアクセスできる」は、今年度は減少し、Vol.6 では32%程度となった。

Q 3. 図書館にどのような複合機能があれば利用したいですか？



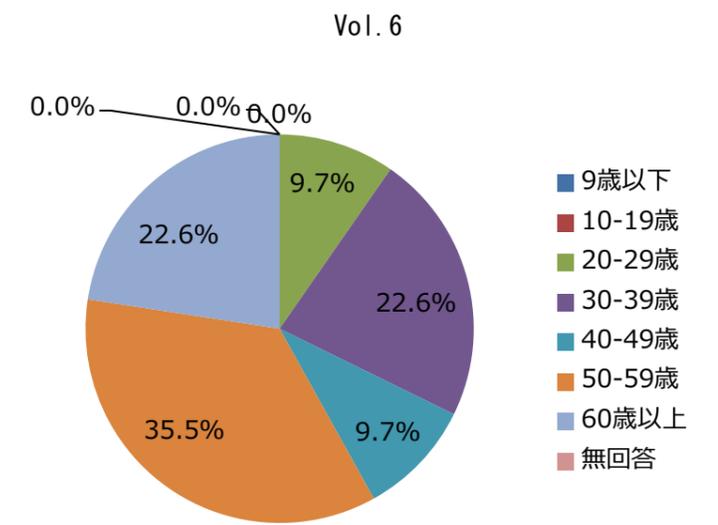
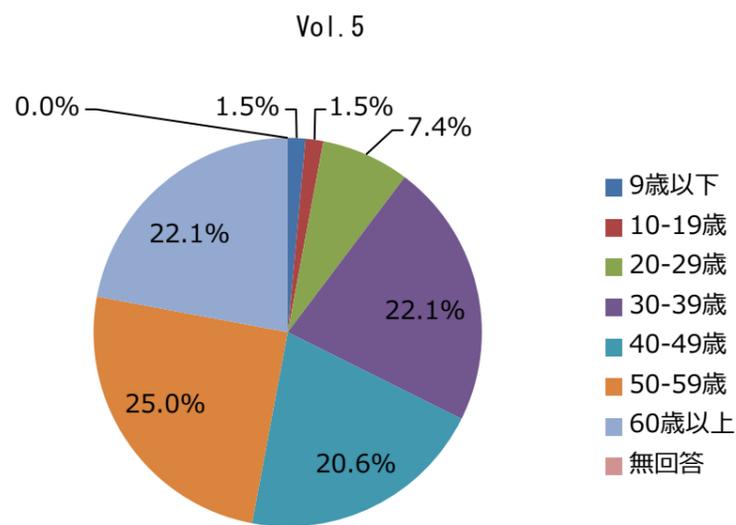
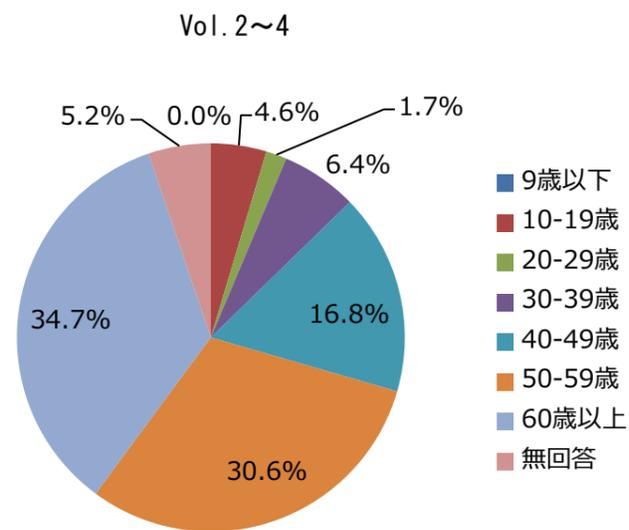
- 全ての回に共通して「カフェ」が過半数以上を占めた。
- 今年度10%以上増加した項目として「テレワークスペース (33→42%)」「習い事・スクール (20→32%)」「制作アトリエ (12→29%)」「デジタルファブ리케이션 (14→35%)」「足湯 (12→32%)」となっている。
- 「市民アートの展示」「障害者アートの展示・活動の場」が約30%→3%に激減している。参加者属性(年代、居住地など)の変化や、テーマも影響していると考えられる。

Q5. 今回のオープン・プラットフォーム会議に参加した理由はなんですか？



・各回で、参加者の属性やテーマによって参加理由が異なっている。

Q10-1. 年齢



・昨年度までは、50代以上が7割以上を占めていたが、今年度は20~30代の参加者が8%→約30%を占めた。

・昨年度までは、40代以下の参加が3割以下であったが、今年度はvol.5が過半数、vol.6では約4割となり、40代以下の参加が昨年度より増加した。